



令和7年6月30日
大垣市立時保育園

【ねらい】一緒に活動する中で、考えたい思いを伝えたりして、かかわりを深める



【どろんこ遊び】

★青、黄組の友達が泥だんごを作ってくれました。乾燥して硬くなった泥だんごを手に、榎の上を転がす遊びが始まりました。「転がすには坂道がいるよ」「もう少し長くしてみよう」「いくよ!」「きたきた」など、年齢に関係なく子ども同士で話し合い、自然とみんなで工夫しながら遊びが広がっていきました。また、川作りでは「ここつなげるよ～」「僕、ここ掘るよ」とみんなで1つの目的に向かって協力し合う姿がありました。それぞれの池から川が全部つながった時には、子どもたちも保育者も「やったー」と歓声をあげて大喜びしました。



【川遊び】

★気温が上がり今年初めての川遊びに行きました。川に入ると「冷たくて気持ちいい～」と思う開放的な気持ちと、流れに足をすくわれないように慎重に足を運び、緊張しながら進む子どもたち。そんな中、青組の子が自然と小さい組の子の手をとり、一緒に歩く姿に優しさを感じることができました。オタマジャクシを見つけたり、石に座って足湯温泉ごっこをしたりしてみんなで楽しみました。お兄ちゃんが川に腹這いになって寝転がっていると、小さい組の子も「やってみたい!」とあこがれのまなざしで真似していました。異年齢で遊ぶ中で、自然に育まれる優しさや憧れの気持ちを大切にしていきたいです。

【オタマジャクシの成長】

★「オタマジャクシさんカエルになってね」といながら、保育園の田んぼに放流する子どもたち。赤、桃組の子も大きい組の子たちと一緒に放流! 全園児でオタマジャクシの成長を見守りました。田んぼを見つめながら「オタマジャクシって大きくなって赤ちゃんなんだね」と大きさに違いがあることに気づき、みんなで図鑑を見て、ウシガエルのオタマジャクシはカエルになるまでに1～2年かかることを知りました。気付きや、図鑑などを見て調べる力を身に付けることも大切にしています。